



特集

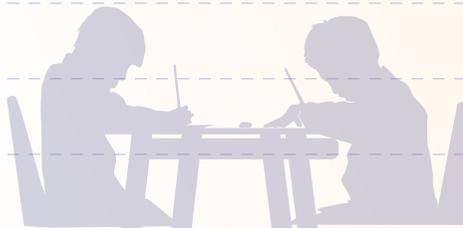
「統一合判」

中学入試レポート vol. 3

最新の志望動向から探る、

2016年入試予測と 併願校選びのポイント

6年生の統一合判テストもこれで3回目。大勢の仲間が集まって力を競う、こうしたテストの雰囲気や形式に、ようやく慣れてきた受験生も多いと思う。来年2月の入試本番まで残り5か月足らず。いよいよこれからが、入試に即した実戦的な力を身につける段階だ。一方で保護者の皆さんは、わが子の受験校を固めていく時期になった。そこで今回は、この9月までに明らかになった志望動向（7月「統一合判」の前年比較）を踏まえて、来春2016年の入試状況をできる範囲で予想しながら、併願校選びのポイントをお伝えしていこう。



首都圏模試センター

「21世紀型教育」推進校と大学付属校が人気。
開成、攻玉社、渋谷学園渋谷も志望者増。

この7月「統一合判」の受験者数は、計11,256名（男子5,245名、女子6,011名）で、昨年7月の受験者数10,911名の103%に増加した。この動きを見る限り、来春2016年首都圏中学入試の受験者数は、2年続きで増加する可能性が大きくなった。そうしたなかで、この時点での志望者が前年比100%を超えて増加している学校は、人気増加傾向にあると考えることができる。その点を踏まえて、個々の人気動向を見ていこう。

まず、男子の2月1日入試校の目立った動向を右の表に紹介した。

男子の最難関グループでは開成、早稲田高等学院がやや志望者増。逆に麻布、早稲田①は減少が目立つ。駒場東邦、慶應普通部、海城①は微減。武蔵、早稲田実業はほぼ横ばいだ。共学校の渋谷学園渋谷①は志望者増。同校は全回の入試で人気の増加が見られる。

これに続く、芝①、サレジオ学院A、逗子開成①、さらに城北①、世田谷学園①、本郷①は微減、巣鴨①は減少が目立つ。逆に攻玉社①は、この1～2年の反動もあってか人気増加。桐朋①も微減だが、来春から2月2日に2回目入試を新設し、この1日の1回目入試の定員が180→110名に縮小されるだけに注意が必要だ。成城も全回で人気が増加していることに注意したい。



今春2015年入試でも志望者を増やした開成の2月1日入試風景。

学校名50音順。 ●=男子校／○=共学校

学校名	7月志望者数(名)		前年7月比 増減(%)
	2015年	2014年	
男子 2月1日 AM			
● 麻布	102	142	▲ 40 (72%)
● 足立学園①	116	105	△ 11 (110%)
● 海城①	136	146	▲ 10 (93%)
● 開成	150	148	△ 2 (101%)
● 慶應義塾普通部	132	142	▲ 10 (93%)
● 攻玉社①	242	215	△ 27 (113%)
● 駒場東邦	59	71	▲ 12 (83%)
● サレジオ学院A	111	134	▲ 23 (83%)
● 芝①	315	342	▲ 27 (92%)
● 芝浦工業大学①	289	218	△ 71 (133%)
● 城北①	195	215	▲ 20 (91%)
● 巣鴨①	139	190	▲ 51 (73%)
● 逗子開成①	182	214	▲ 32 (85%)
● 成城①	303	277	△ 26 (109%)
● 世田谷学園①	136	154	▲ 18 (88%)
● 桐朋①	142	157	▲ 15 (90%)
● 本郷①	272	287	▲ 15 (95%)
● 武蔵	81	83	▲ 2 (98%)
● 早稲田①	162	200	▲ 38 (81%)
● 早稲田実業学校	108	110	▲ 2 (98%)
● 早稲田大学高等学院	108	95	△ 13 (114%)
○ かえつ有明2/1AM・2科4科	134	94	△ 40 (143%)
○ 工学院大学附属①A・特待	38	35	△ 3 (109%)
○ 渋谷教育学園渋谷①	73	57	△ 16 (128%)
○ 成蹊①	144	124	△ 20 (116%)
○ 成城学園①	172	145	△ 27 (119%)
○ 中央大学附属①	157	170	▲ 13 (92%)
○ 桐光学園①	180	159	△ 21 (113%)
○ 東洋大学京北①	127	109	△ 18 (117%)
○ 日本大学A	269	232	△ 37 (116%)
○ 日本大学藤沢①	157	116	△ 41 (135%)
○ 広尾学園①	107	76	△ 31 (141%)
○ 法政大学①	133	96	△ 37 (139%)
○ 三田国際学園①本科	80	12	△ 68 (667%)
○ 森村学園①	89	74	△ 15 (120%)
男子 2月1日 PM			
● 鎌倉学園(算数選抜)	49	—	△ 49 (—)
● 京華①PM・特別選抜	34	14	△ 20 (243%)
● 佼成学園①特別奨学生	26	25	△ 1 (104%)
● 聖学院①特待選抜	79	67	△ 12 (118%)
○ 開智日本橋学園②特待	42	—	△ 42 (—)
○ かえつ有明2/1PM・特待	51	36	△ 15 (142%)
○ 関東学院①A	122	113	△ 9 (108%)
○ 国学院大学久我山ST①	51	60	▲ 9 (85%)
○ 湘南学園A	93	70	△ 23 (133%)
○ 青陵①B	144	118	△ 26 (122%)
○ 東京農業大学第一①	163	147	△ 16 (111%)
○ 東洋大学京北②	91	45	△ 46 (202%)
○ 三田国際学園②本科	52	27	△ 25 (193%)
○ 明治学院①	101	95	△ 6 (106%)



学校名50音順。 ●=男子校 / ○=共学校

今春入試で大人気だった**聖学院**、**開智日本橋学園**、**三田国際学園**は、今年も引き続き人気増加が目立ち、**かえつ有明**も人気増加。中学受験生の保護者の「21世紀型教育」や「アクティブラーニング」に向ける期待の大きさを物語っている。

今春の新校舎への校地移転と共学化から2年目を迎える**東洋大学京北①**は今年も大人気。表中にもいくつか見られるように、この数年、全体的にはやや人気減少傾向にあった大学付属校が人気を盛り返している。「2020年大学入試改革」を契機に、再び大学付属校の魅力が注目されたのか、**明治大学**、**法政大学**、**日本大学**、**芝浦工業大学**などの付属校の人气が目立っている。

聖学院、栄光学園はともにやや志望者減。 この2月2日でも大学付属校が人気増!

次に2日入試の動向を見ていこう。

この2日入試の最難関に位置する**聖光学院①**が、今年は難化を敬遠されてか志望者減。**栄光学園**も同じく志望者減。

そして大学付属校では、**慶應湘南藤沢**を筆頭に、東京都内では、**青山学院**、**立教池袋①**、**明治大学付属明治①**、**学習院①**、**明治大学付属中野①**、**芝浦工業大学②**、**神奈川でも日本大学B**、**法政大学第二①**などが、いずれも志望者増。とくに来春から共学化して女子にも門戸を開く**法政大学第二**は、男子の募集定員が縮小されるだけに要注意だ。

新設される**桐朋②**の志望者はこの時点では60名だが、同校はこの6月に中学棟の新校舎も完成し、最新の設備を備えた素晴らしい教育環境が整い、「次の学びプロジェクト」も本格始動。今後さらに志望者が増えてくることが予想される。

本郷②はこの2日はやや志望者増。**世田谷学園②**、**城北②**も増加している。**攻玉社②**、**巣鴨②**は逆に減少している。**高輪B**は前年並み。午後の入試では、**京華②**、**藤嶺学園藤沢②**などの男子校も志望者増。

学校名	7月志望者数(名)		前年7月比 増減(%)
	2015年	2014年	
男子 2月2日 AM			
● 栄光学園	70	106	▲ 36 (66%)
● 学習院①	84	68	△ 16 (124%)
● 攻玉社②	82	102	▲ 20 (80%)
● 芝浦工業大学②	162	140	△ 22 (116%)
● 城北②	116	91	△ 25 (127%)
● 巣鴨②	67	81	▲ 14 (83%)
● 聖光学院①	65	101	▲ 36 (64%)
● 世田谷学園②	72	66	▲ 6 (109%)
● 高輪B	128	129	▲ 1 (99%)
● 桐朋②	60	—	△ 60 (—)
● 本郷②	119	109	△ 10 (109%)
● 明治大学付属中野①	482	418	△ 64 (115%)
● 立教池袋①	203	180	△ 23 (113%)
○ 青山学院	208	186	△ 22 (112%)
○ 神奈川大学附属A	200	233	▲ 33 (86%)
○ 慶應義塾湘南藤沢	85	75	△ 10 (113%)
○ 湘南学園B	70	57	△ 13 (123%)
○ 帝京大学②	46	43	△ 3 (107%)
○ 桐光学園②	104	129	▲ 25 (81%)
○ 東京電機大学③	70	65	△ 5 (108%)
○ 日本大学第三②	116	112	△ 4 (104%)
○ 明治学院②	71	69	△ 2 (103%)
○ 明治大学付属明治①	152	130	△ 22 (117%)
○ 法政大学第二①	493	400	△ 93 (123%)
○ 森村学園②	49	32	△ 17 (153%)
男子 2月2日 PM			
● 京華②・中高一貫	40	15	△ 25 (267%)
● 聖学院②特待選抜	27	20	△ 7 (135%)
● 高輪(算数午後)	91	82	△ 9 (111%)
● 藤嶺学園藤沢②	50	37	△ 13 (135%)
● 日本大学豊山②	161	122	△ 39 (132%)
○ 順天②B	38	26	△ 12 (146%)
○ 東京農業大学第一②	61	83	▲ 22 (73%)
○ 自修館B②	25	12	△ 13 (208%)
○ 中央大学附属横浜②	180	117	△ 63 (154%)
○ 日本大学B	199	131	△ 68 (152%)



新校舎も完成し、今春2015年入試では大きな人気を集めた**聖光学院**。

このほか、**聖学院②**（特待選抜）はこの日も人気増。SGH（スーパーグローバルハイスクール）指定校の**順天**もほぼ全回で志望者を増やしている点に注目したい。この1～2年、面倒見の良さや進学実績の躍進が注目されている**京華**も全体に人気増。

進学校では成城②が目立って志望者増。後半戦でも大学付属の各校が人気増。

続いて2月3日入試では、**浅野**、**海城②**などをはじめ、全体に男子校の進学校グループに志望者の減少が目立つ。ただし、そのなかで**成城②**は目立って志望者増。来春2016年入試の“台風の日”的な存在になる可能性も感じられる。

一方で、**慶應中等部**、**明治大学付属明治②**、**法政大学②**、**明治大学付属中野八王子②**、**成城学園②**、**日本大学豊山③**などの大学付属各校は志望者増。全体的な大学付属校の人気増加傾向がここでも目立っている。

公立中高一貫校は、ほぼ前年並みかやや減少という傾向だが、そのなかで**都立・武蔵**は志望者増。

3日午後では、やはり**開智日本橋学園④**、**かえつ有明2/3PM・特待**、**三田国際学園④**本科などが志望者増。

後半戦でも、4日の**芝浦工業大学③**、**明治大学付属中野②**、**成蹊②**、**中央大学附属②**、**日本大学藤沢②**、**法政大学第二②**など、前半戦と同じく大学付属校の人気動向が目立っており、5日の大学



来春2016年入試に向けては、大学付属校の豊洲に移転する芝浦工業大学7月の新校舎完成予想図。

学校名50音順。 ●=男子校／◎=共学校

学校名	7月志望者数(名)		前年7月比増減(%)
	2015年	2014年	
男子 2月3日 AM			
● 浅野	229	297	▲ 68 (77%)
● 海城②	62	84	▲ 22 (74%)
● 学習院②	76	78	▲ 2 (97%)
● 暁星	103	106	▲ 3 (97%)
● 逗子開成②	71	84	▲ 13 (85%)
● 成城②	277	225	△ 52 (123%)
● 筑波大学附属駒場	44	50	▲ 6 (88%)
● 日本大学豊山③	146	128	△ 18 (114%)
● 早稲田②	68	82	▲ 14 (83%)
◎ 神奈川大学附属B	90	72	△ 18 (125%)
◎ 公文国際学園B	48	38	△ 10 (126%)
◎ 慶應義塾中等部	156	121	△ 35 (129%)
◎ 湘南学園C	57	30	△ 27 (190%)
◎ 成城学園②	118	92	△ 26 (128%)
◎ 東京都立武蔵高等学校附属	41	30	△ 11 (137%)
◎ 法政大学②	88	49	△ 39 (180%)
◎ 明治大学付属中野八王子②	80	63	△ 17 (127%)
◎ 明治大学付属明治②	71	29	△ 42 (245%)
男子 2月3日 PM			
◎ 開智日本橋学園④	32	5	△ 27 (640%)
◎ かえつ有明2/3PM・特待	27	20	△ 7 (135%)
◎ 国学院大学久我山ST②	35	36	▲ 1 (97%)
◎ 三田国際学園④本科	33	20	△ 13 (165%)
男子 2月4日			
● 鎌倉学園②	93	76	△ 17 (122%)
● サレジオ学院B	95	85	△ 10 (112%)
● 芝②	148	186	▲ 38 (80%)
● 芝浦工業大学③	169	128	△ 41 (132%)
● 城北③	64	49	△ 15 (131%)
● 聖光学院②	53	60	▲ 7 (88%)
● 世田谷学園③	48	56	▲ 8 (86%)
● 高輪C	130	105	△ 25 (124%)
● 明治大学付属中野②	260	228	△ 32 (114%)
◎ 成蹊②	87	54	△ 33 (161%)
◎ 中央大学附属②	107	71	△ 36 (151%)
◎ 日本大学藤沢②	158	87	△ 71 (182%)
◎ 法政大学第二②	280	258	△ 22 (109%)
男子 2月5日			
● 鎌倉学園③	71	52	△ 19 (137%)
● 獨協③	160	140	△ 20 (114%)
● 立教池袋②	111	74	△ 37 (150%)
◎ 東海大学付属高輪台③	65	34	△ 31 (191%)
◎ 日本大学第一(2科②)	59	40	△ 19 (148%)
◎ 法政大学③	95	36	△ 59 (264%)
◎ 神奈川大学附属C	83	50	△ 33 (166%)
◎ 日本大学C	150	126	△ 24 (119%)
男子 2月6日			
● 東京都市大学付属④I	50	45	△ 5 (111%)
◎ 湘南学園D	57	35	△ 22 (163%)
◎ 山手学院(後期)	55	26	△ 29 (212%)



付属各校も志望者増。この数年ぶりの「大学付属
校人気」は、来春2016年入試における独特の人
気傾向といえることができそうだ。

サンデーショックの“揺り戻し”の2月1日、 そのなかにも求心力を強める女子の受験校が！

続いて女子の2月1日入試校を見ていこう。

来春2016年は、今春の「サンデーショック」
で2月2日に入試日を移動した、**女子学院**や**フェリス女学院**、**東洋英和女学院A**、**立教女学院**などを
はじめとしたプロテスタント校（一部カトリック校）が従来の2月1日に入試日を戻すため、その“揺り戻し”の影響が出る年。これらの学校はおおむね今春より志望者が減少する傾向にあるが、例年並みの人気・難度に戻ると考えてよいだろう。

一方、従来からの2月1日入試校は、その動きの影響で、前年より若干志望者を減少させるケースが見られるのが通例だが、そうしたなかで、逆に志望者をやや増加させている**晃華学園①**、**頌栄女子学院①**、**洗足学園①**、**早稲田実業**などは、かなり求心力を強めていると見てよいだろう。

また、女子の受験校にも、男子と同様に、**かえつ有明**、**開智日本橋学園**、**三田国際学園**、**順天**など、いわゆる「21世紀型教育」の導入推進校の志望者増と、大学付属各校の志望者増の傾向が見られる。来春2016年から青山学院大学の系属校となり、校名を**青山学院横浜英和**と変更する（2018年からは



女子の最難関・桜蔭の求心力は変わらず
入試風景（写真は2015年2月1日）

学校名50音順。 ●=女子校／○=共学校

学校名	7月志望者数(名)		前年7月比 増減(%)
	2015年	2014年	
女子 2月1日 AM			
● 桜蔭	65	79	▲ 14 (82%)
● 鷗友学園女子①	117	136	▲ 19 (86%)
● 大妻①	308	331	▲ 23 (93%)
● 学習院女子A	75	107	▲ 32 (70%)
● 吉祥女子①	152	162	▲ 10 (94%)
● 共立女子A	347	371	▲ 24 (94%)
● 晃華学園①	79	63	△ 16 (125%)
● 香蘭女学校	383	399	▲ 16 (96%)
● 頌栄女子学院①	139	116	△ 23 (120%)
● 女子学院	105	118	▲ 13 (89%)
● 清泉女学院①	54	96	▲ 42 (56%)
● 洗足学園①	173	160	△ 13 (108%)
● 田園調布学園①	179	177	△ 2 (101%)
● 東京女学館(一般①)	143	181	▲ 38 (79%)
● 東洋英和女学院A	156	154	△ 2 (101%)
● 日本女子大学附属①	130	164	▲ 34 (79%)
● 富士見①	267	271	▲ 4 (99%)
● フェリス女学院	79	92	▲ 13 (86%)
● 雙葉	66	62	△ 4 (106%)
● 普連土学園①	147	138	△ 9 (107%)
● 三輪学園①	228	217	△ 11 (105%)
● 山脇学園A	375	397	▲ 22 (94%)
● 横浜共立学園A	129	146	▲ 17 (88%)
● 横浜雙葉	67	88	▲ 21 (76%)
● 立教女学院	154	160	▲ 6 (96%)
○ かえつ有明2/1AM・2科4科	94	73	△ 21 (129%)
○ 渋谷教育学園渋谷①	60	73	▲ 13 (82%)
○ 順天①A	127	88	△ 39 (144%)
○ 成蹊①	96	86	△ 10 (112%)
○ 中央大学附属①	149	168	▲ 19 (89%)
○ 中央大学附属横浜①	186	259	▲ 73 (72%)
○ 東洋大学京北①	109	59	△ 50 (185%)
○ 広尾学園①	129	108	△ 21 (119%)
○ 法政大学①	100	127	▲ 27 (79%)
○ 三田国際学園①本科	111	43	△ 68 (258%)
○ 早稲田実業学校	60	34	△ 26 (176%)
女子 2月1日 PM			
● 青山学院横浜英和A	203	56	▲ 147 (363%)
● 江戸川女子(AO入試)	123	100	△ 23 (123%)
● 大妻中野②アドバンスト選抜	211	171	△ 40 (123%)
● 恵泉女学園S	174	274	▲ 100 (64%)
● 実践女子(GSC・一般)	64	36	△ 28 (178%)
● 十文字②スーパー型特待	152	112	△ 40 (136%)
● 東京女学館(一般②)	118	91	△ 27 (130%)
● 中村①特待C	77	60	△ 17 (128%)
● 文大杉並(難進グローバル1)	43	21	△ 22 (205%)
○ かえつ有明2/1PM・特待	45	22	△ 23 (205%)
○ 順天①B	62	33	△ 29 (188%)
○ 東洋大学京北②	50	27	△ 23 (185%)
○ 明治学院①	124	79	△ 45 (157%)

学校名50音順。 ●=女子校／◎=共学校

共学化も予定)の**横浜英和女学院**は、この2月1日午後をはじめ、全回の入試で志望者を目立って増加させていることに注意したい。**東洋大学京北**も男子以上の志望者増が目立っている。

このほか、新たな学びのスタイルを導入し、思い切った学校改革と入試改革を進める**大妻中野**、**中村**、**文化学園大学杉並**など、気鋭の女子進学校が人気を高めている点にも注目しておきたい。

**青山学院、大妻②などが志望者増。
洗足学園②、共立女子Bの人気も目立つ**

2月2日入試でも、2月1日と同じく「サンデーショックの“揺り戻し”」の影響が一部に見られる。ただしこの2日では、今春は2月1日から多くの学校が参入してきたことで志望者を減少させた各校が、再び例年並みの人気に戻るといった傾向だ。

青山学院、**大妻②**などの志望者増は、そうした傾向によるものと考えてよいだろう。ただし**共立女子B**の志望者増が目立つことには、今春の反動に加えて、さらに求心力を強めている傾向が感じ取れる。**洗足学園②**も志望者がやや増加。

豊島岡女子学園①、**百合学園**の志望者がやや減少しているのは、入試レベルの高さを敬遠する層が出てきたことによるものだろう。

さらにこの2日入試でも、**慶應湘南藤沢**、**明治大学付属明治①**、**青山学院横浜英和②**、**明治学院②**、**日本大学B**など、大学付属校の人気増加傾向が感じ取れる。とくに来春から共学化(新校舎も完成)する**法政大学第二①**に、この段階で174名の志望者が集まっていることには注意が必要だ。

午後入試では、今春やはり全回の入試とも大人気だった**大妻中野③アドバンス**の志望者がさらに増加。**文化学園大学杉並**〈**難進グローバル②**〉や**十文字④**〈**スーパー型特待**〉など、新たな授業やクラス編成などの改革を打ち出した女子の進学校に、受験生と保護者の期待や注目が集まり、人気を高めていることにも注目したい。

学校名	7月志望者数(名)		前年7月比 増減(%)
	2015年	2014年	
女子 2月2日 AM			
● 青山学院横浜英和B①	104	91	△ 13 (114%)
● 大妻②	162	104	△ 58 (156%)
● 吉祥女子②	77	81	▲ 4 (95%)
● 鎌倉女学院①	125	144	▲ 19 (87%)
● 共立女子B	292	167	△ 125 (175%)
● 恵泉女学園A①	223	268	▲ 45 (83%)
● 品川女子学院②	219	173	△ 46 (127%)
● 湘南白百合学園	57	53	△ 4 (108%)
● 百合学園	38	59	▲ 21 (64%)
● 洗足学園②	116	105	△ 11 (110%)
● 豊島岡女子学園①	105	116	▲ 11 (91%)
● 富士見②	172	150	△ 22 (115%)
● 聖園女学院③	42	32	△ 10 (131%)
● 山脇学園B	243	231	△ 12 (105%)
◎ 青山学院	210	150	△ 60 (140%)
◎ 慶應義塾湘南藤沢	77	54	△ 23 (143%)
◎ 法政大学第二①	174	—	△ 174 (—)
◎ 明治学院②	120	86	△ 34 (140%)
◎ 明治大学付属明治①	102	73	△ 29 (140%)
◎ 森村学園②	44	45	▲ 1 (98%)
女子 2月2日 PM			
● 青山学院横浜英和B②	111	58	△ 53 (191%)
● 大妻中野③アドバンス	179	143	△ 36 (125%)
● 麹町学園女子2/2PM・特待	52	46	△ 6 (113%)
● 十文字④スーパー型特待	75	68	△ 7 (110%)
● 東京女学館(一般③)	100	89	△ 11 (112%)
● 普連土学園②	111	80	△ 31 (139%)
● 文大杉並(難進グローバル2)	27	11	△ 16 (245%)
● 聖園女学院④	45	42	△ 3 (107%)
● 開智日本橋学園③	35	5	△ 30 (700%)
◎ かねつ有明2/2PM・特待	34	27	△ 7 (126%)
◎ 淑徳(スーパー特進②)	69	61	△ 8 (113%)
◎ 中央大学附属横浜②	133	122	△ 11 (109%)
◎ 東京農業大学第一②	45	42	△ 3 (107%)
◎ 日本大学B	145	129	△ 16 (112%)
◎ 三田国際学園③本科	55	15	△ 40 (367%)



今春2015年入試では目立って志望者を増やした立教女学院はサンデーショックの“揺り戻し”の影響も少なそう。



女子の3日以降でも大学付属校が人気。 後半戦にも合格のチャンスがあると考えよう!

続いて2月3日入試校では、全体に大学付属校の人気増加が目立つなかで、**慶應中等部**の志望者はほぼ前年並みに。**豊島岡女子学園②**もほぼ前年並みの志望者。来春2016年入試から、これまでの3回入試を2回に減らし、2月1日と3日のみの入試となる**鷗友学園女子②**が志望者を増やしていることに注目したい。今春から3回→2回入試とした**晃華学園**も志望者を増やしている。

明治大学付属明治②は、ほぼ前年並みの志望者だが、3日の**法政大学②**、**成城学園②**、3日午後の**青山学院横浜英和C**、4日の**成蹊②**、**中央大学附属②**、5日の**東海大学高輪台③**、**日本大学第一(2科②)**、**日本大学C**などの大学付属各校が、ここでもやはり志望者を増加させている。

とくに共学化初年度の**法政大学第二②**が、この4日でも127名もの志望者を集めていることに注目しておきたい。

このほか中堅の女子校でも、3日午後の**文京学院大学女子④**や**和洋九段女子④**などのように、校舎施設を新たに整えたり、新たなコース・教育体制で意欲ある受験生を迎え入れようとしている学校が人気を増加させている点にも注目したい。2月4日以降の後半戦にも「良い学校に合格できる」チャンスが数多くあることを意識しておきたい。

学校名50音順。 ● = 女子校 / ○ = 共学校

学校名	7月志望者数(名)		前年7月比増減(%)
	2015年	2014年	
女子 2月3日 AM			
● 鷗友学園女子②	59	44	△ 15 (134%)
● 大妻③	92	81	△ 11 (114%)
● 学習院女子B	45	52	▲ 7 (87%)
● カリタス女子②	96	47	△ 49 (204%)
● 晃華学園②	73	38	△ 35 (192%)
● 東洋英和女学院B	84	60	△ 24 (140%)
● 豊島岡女子学園②	31	34	▲ 3 (91%)
● 日本女子大学附属②	137	109	△ 28 (126%)
● 富士見③	162	139	△ 23 (117%)
● 横浜共立学園B	80	73	△ 7 (110%)
○ 慶應義塾中等部	57	59	▲ 2 (97%)
○ 成城学園②	131	88	△ 43 (149%)
○ 法政大学②	72	48	△ 24 (150%)
○ 明治大学付属明治②	29	28	△ 1 (104%)
女子 2月3日 PM			
● 青山学院横浜英和C	118	89	△ 29 (133%)
● 文京学院大学女子④	34	20	△ 14 (170%)
● 和洋九段女子④	78	57	△ 21 (137%)
○ かえつ有明2/3PM・特待	37	12	△ 25 (308%)
○ 国学院大学久我山ST②	42	28	△ 14 (150%)
女子 2月4日			
● 鎌倉女学院②	80	68	△ 12 (118%)
● カリタス女子③	72	49	△ 23 (147%)
● 吉祥女子③	55	50	△ 5 (110%)
● 共立女子C	103	122	▲ 19 (84%)
● 品川女子学院③	83	133	▲ 50 (62%)
● 豊島岡女子学園③	37	34	△ 3 (109%)
● 普連土学園③	100	58	△ 42 (172%)
○ 成蹊②	113	62	△ 51 (182%)
○ 中央大学附属②	98	64	△ 34 (153%)
○ 東京農業大学第一③	89	77	△ 12 (116%)
○ 法政大学第二②	127	—	△ 127 (—)
女子 2月5日			
○ 東海大学付属高輪台③	44	25	△ 19 (176%)
○ 日本大学第一(2科②)	58	38	△ 20 (153%)
○ 日本大学C	138	108	△ 30 (128%)

2016年入試を勝ち抜く「併願作戦」を立てるヒント

～ “合格” を引き寄せる5つのポイント～

ここで来春2016年入試で合格をつかむための「ベストな併願作戦を組み立てる」ためのヒントを紹介しておこう。以下は第一志望だけではなく、すべての併願校を選んでいくためにも重要なことにほかならない。だからこそ、これから受験校選びをしていくうえで、あらためて意識すべきポイントとして参考にしていただきたい。

- (1) 少なくとも6校(6回)以上に出願し、合格を得るまで「受け抜く」覚悟を固める。
- (2) 上記(1)のことを実行するために、少なくとも10校以上の学校を見学する。
- (3) 親子で「これだけは譲れない」という学校選択の条件を絞り、それ以外は柔軟に受験校を選ぶ。
第2志望校以下は「親の責任で」選び、併願校に加える。
- (4) 併願校の難易度を上下幅広く選び、慎重かつ強気の組み合わせを考える。
- (5) どんな状態、コンディションでも、親子で「最後まで明るく」受験に挑む気持ちで。

**男女1月中の入試校は人気が錯綜。
大宮開成、城北埼玉、麗澤などが志望者増**

最後に1月中入試の男女の動向を見ていきたい。
埼玉エリアの入試がスタートする1月10日の男子の受験校では、**城西川越、大宮開成、栄東**が志望者増。翌1月11日から、千葉エリアの入試が始まる20日までの間では、**城北埼玉①、獨協埼玉①**などが志望者増。

1月20日からの千葉エリアの入試では、現時点では、**渋谷学園幕張①、市川①、東邦大付属東邦〈前期〉、昭和秀英②〈一般〉**がいずれも志望者減。この4校の難化を見据えて、やや志望者が中堅の各校に移ってきたのか、**麗澤①EE、八千代松陰〈1/20入試〉**などのほか、**東海大付属浦安や成田高校附属**などにも人気増加の傾向が見られる。

埼玉エリアでは、女子でも**大宮開成**はやはり人気傾向。1月中の女子校の最難関・**浦和明の星女子**も志望者をやや増加させている。

千葉エリアの女子でも、**市川①、渋谷学園幕張①、東邦大付属東邦〈前期〉**などの最難関グループは志望者減。**昭和秀英②〈一般〉**のみ前年と同数の志望者を保っている。男子と同様に、この女子の千葉エリアでも、中堅の各校に志望者を増加させるケースが散見されることを付記しておきたい。保護者が各校の魅力をきちんと探し出そうとしている傾向が見られるといってもよいだろう。



2年続きで、1回の入試では中学入試史上最多の志望者を集めた栄東（A日程）の男子はさらに志望者増。

学校名50音順。 ●=男子校／●=女子校／○=共学校

学校名	7月志望者数(名)		前年7月比増減(%)
	2015年	2014年	
男子 1月10日 AM			
● 城西川越(一般①)	74	47	△ 27 (157%)
○ 大宮開成①特別進学	60	45	△ 15 (133%)
○ 埼玉栄(進学①)	50	48	△ 2 (104%)
○ 栄東A	184	169	△ 15 (109%)
男子 1月10日 PM			
○ 春日部共栄①GE	23	32	▲ 9 (72%)
男子 1月11日～17日			
● 城北埼玉①	186	165	△ 21 (113%)
○ 江戸川学園取手①	152	184	▲ 32 (83%)
○ 開智①	92	90	△ 2 (102%)
○ 栄東(東大I)	40	65	▲ 25 (62%)
○ 獨協埼玉①	194	171	△ 23 (113%)
男子 1月20日～			
● 立教新座①	235	219	△ 16 (107%)
○ 市川①	347	428	▲ 81 (81%)
○ 芝浦工業大学柏①	275	313	▲ 38 (88%)
○ 渋谷教育学園幕張①	163	176	▲ 13 (93%)
○ 昭和学院秀英②一般	212	259	▲ 47 (82%)
○ 専修大学松戸①	274	265	△ 9 (103%)
○ 東海大学付属浦安A	104	101	△ 3 (103%)
○ 東邦大学付属東邦(前期)	304	398	▲ 94 (76%)
○ 麗澤①EE	106	61	△ 45 (174%)
○ 八千代松陰1/20入試	67	46	△ 21 (146%)
女子 ～1月9日			
○ 常総学院①	44	40	△ 4 (110%)
○ 土浦日本大学①一般	37	31	△ 6 (119%)
女子 1月10日			
○ 大宮開成①特別進学	65	50	△ 15 (130%)
○ 春日部共栄①GS	53	51	△ 2 (104%)
○ 栄東A	169	192	▲ 23 (88%)
○ 西武学園文理①	71	85	▲ 14 (84%)
○ 星野学園(進学①)	98	126	▲ 28 (78%)
○ 茗溪学園(一般①)	88	80	△ 8 (110%)
女子 1月11日～17日			
● 淑徳与野①	162	200	▲ 38 (81%)
● 浦和明の星女子①	161	148	△ 13 (109%)
○ 江戸川学園取手①	167	171	▲ 4 (98%)
○ 開智①	84	79	△ 5 (106%)
○ 栄東(東大I)	28	34	▲ 6 (82%)
○ 獨協埼玉①	179	191	▲ 12 (94%)
女子 1月20日～			
● 聖徳大附女子①S選抜	44	48	▲ 4 (92%)
● 国府台女子学院①	260	253	△ 7 (103%)
○ 市川①	261	288	▲ 27 (91%)
○ 専修大学松戸①	263	270	▲ 7 (97%)
○ 渋谷教育学園幕張①	110	112	▲ 2 (98%)
○ 芝浦工業大学柏①	157	181	▲ 24 (87%)
○ 昭和学院秀英②一般	241	241	△ 0 (100%)
○ 東邦大学付属東邦(前期)	257	286	▲ 29 (90%)
○ 麗澤①EE	120	74	△ 46 (162%)